

## 南部地域公共交通網再編について

### 1. 南部地域における公共交通網再編の考え方（案）（第2回協議会資料再掲）

これまでの社会実験運行の結果を踏まえた改善を実施した①の運行とともに、②の運行も取り入れ、既存の南部ルートを生かした第3期社会実験運行を令和4年9月から実施し、再編に向けた最終的な検証を実施する。

- ①朝夕の時間帯は社会実験運行の結果を踏まえつつ、西部臨海部も含めた近鉄弥富駅南口との急行便を運行し、南部ルートの利用者特性の1つである通勤・通学需要に対応する
- ②日中の時間帯は高齢者を中心とした買い物や通院等への需要に対応するため、デマンド運行を取り入れ、効率的な運行に変更する
- ③再編後の運行経費は現状と同程度を目標とする

⇒令和2年度のきんちゃんバス全体では5台で運行しており運行経費は年間約9,400万円

⇒南部ルートは2台、4名体制で運行しており年間約4,500万円

⇒運行経費の多くは運転手等の人件費が占めているため、運転手数や運転手の拘束時間（運行時間帯）で概ねの運行経費は決まってくる

### 2. 公共交通網再編イメージ（第1案）（第2回協議会資料再掲）

- ◆朝夕の時間帯は弥富駅南口～西部臨海部で路線型運行（2台程度で運行）
- ◆日中の時間帯はデマンド運行を導入（2台程度で運行）

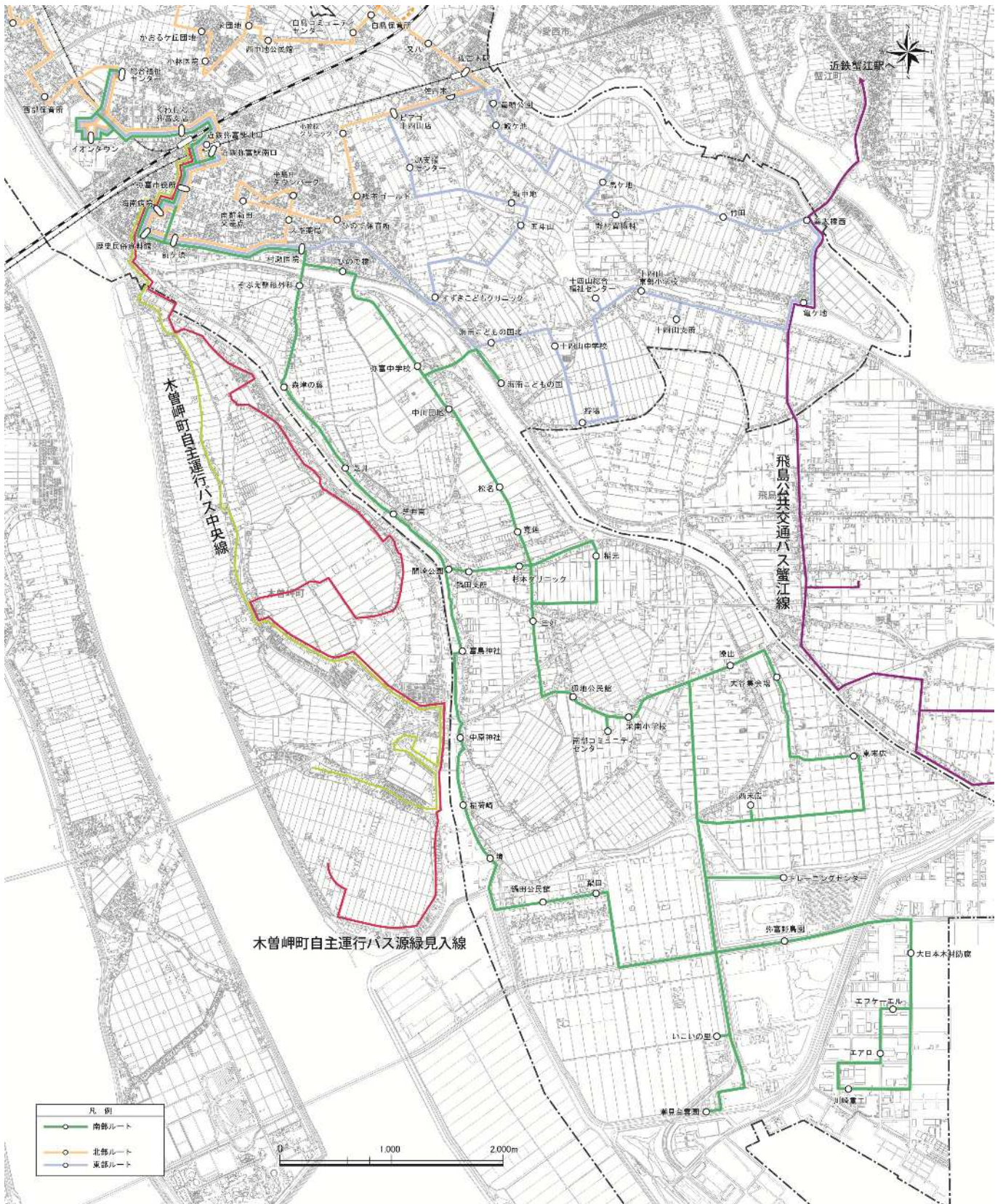
#### 路線型運行について

- ◆通勤・通学需要に対応（平日運行）
- ◆第2期運行の利用状況を踏まえ停車バス停やダイヤ調整を実施
- ◆料金体系は既存きんちゃんバスと同一（一般200円）

#### デマンド運行について（路線型運行とあわせ第3期運行で実証予定）

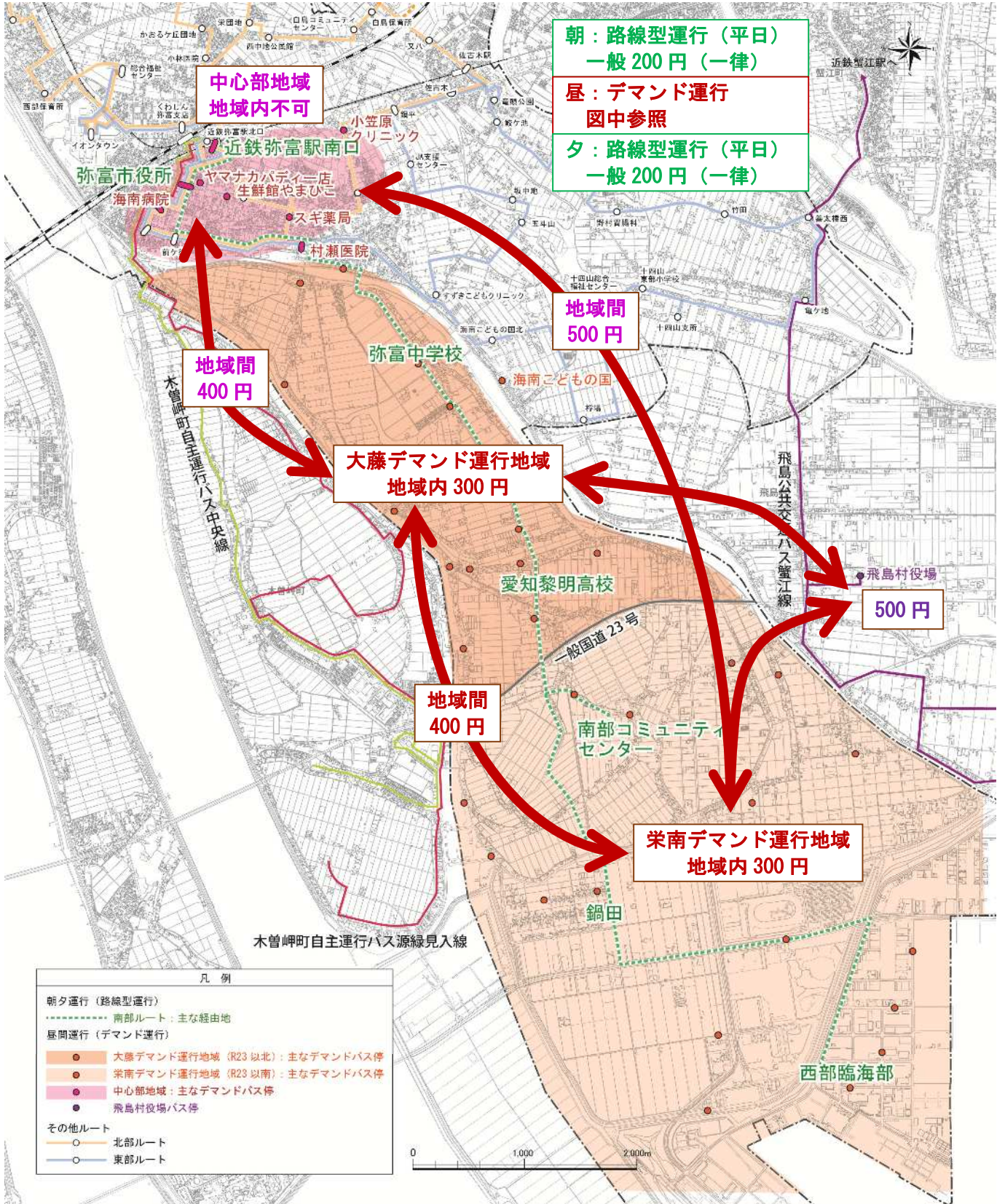
- ◆買い物、通院、公共施設利用等の需要に対応
- ◆南部地域を2つの地域（大藤、栄南）のほか、中心部地域と飛鳥村役場バス停の3地域1バス停に区分
- ◆南部地域の2つの運行地域内にバス停を設置（既存バス停+ $\alpha$ 。子ども連れの方なども行きやすいように海南こどもの国バス停を大藤エリアとみなす）
- ◆中心部地域は既存バス停のほか、商業施設や病院などを中心にバス停を増設（中心部地域内々での乗降不可）
- ◆デマンドは目的地に応じて300～500円程度  
地域内：300円、隣接地域間：400円、それ以外500円等  
他ルートとの乗り継ぎ割引についても今後検討
- ◆利用者の制限なし（地域外の方でもいこいの里等の利用をしやすい）
- ◆運行日やダイヤ設定の有無なども含め、詳細については今後も継続して検討

◆現在の南部地域公共交通網





◆再編後の南部地域公共交通網案のイメージ (第1案) (第2回協議会資料再掲)





### 3. 意見交換会での主な意見 (R3. 11. 20 実施)

- 近鉄弥富駅ー近鉄蟹江駅のバスルートを活かして欲しい
- 飛島バスや木曾岬町のバスも利用しやすく
- 飛島バスと連携して運行
- 名古屋駅等へ最短で行ける交通手段が欲しい
- デマンド運行の導入に賛成
- 朝はバスを残し昼はデマンド運行にして経費が現状と同じくらいであれば、一番みなさんの意見を取り入れられている
- 基幹路線運行は行うべきである
- デマンドによる高齢利用者の救済、更には、ドアトゥドアによる地元タクシー会社を利用した方法も欲しい
- 路線型運行をすべてやめてデマンド運行だけにしてはどうか
- 一度思い切ってデマンド運行をやってみるしかない
- デマンド導入の実証実験においては、運行が昼間であり利用者は高齢者となるので福寿会における周知と利用方法についての説明会や出前講座を実施して欲しい(周知の工夫が必要)
- 栄南学区の住民は近鉄蟹江駅、大藤学区の住民は近鉄弥富駅を利用する人が多い
- 弥富駅周辺の駐車場代がバス運賃よりも安い







#### 4. 公共交通網再編イメージ（第2案）

- ◆大藤学区を中心とした地区は路線型運行を維持（2台程度で運行）
- ◆栄南学区を中心とした地区はデマンド運行を導入（1～2台程度で運行）

##### 大藤学区

- ◆路線型運行で市中心部など近鉄弥富駅方面への移動を支える
- ◆運行距離を短くすることで運行頻度の増加を図る
- ◆現在の南部ルートと同程度の運行時間帯で運行
- ◆西部臨海部への通勤需要に対応した運行として、一部、現在の西部臨海便程度の頻度での運行も実施（南部3便、南部8便、南部12便）  
※現在社会実験中のような急行便の頻度での運行無
- ◆愛知黎明高校のバス停を維持し通学需要に対応
- ◆料金体系は既存きんちゃんバスと同一（一般200円）

##### 栄南学区

###### 朝の時間帯

- ◆鍋田支所や鍋田公民館、南部コミュニティセンターなど主要なバス停と飛島バス滞留所を結ぶ路線型運行により、近鉄弥富駅方面に加え近鉄蟹江駅方面への通勤通学の移動を支える
- ◆デマンド運行に使用する車両を活用
- ◆料金体系は200円程度

###### 日中の時間帯

- ◆デマンド運行により、他路線との連携しつつ近鉄弥富駅方面のほか近鉄蟹江駅方面への移動を支える
- ◆栄南学区を中心としたデマンド運行地域内にバス停を設置（既存バス停+ $\alpha$ 増設）
- ◆他路線との乗り継ぎバス停を設定
  - ・大藤学区路線型運行：鍋田支所、杉本クリニックなど
  - ・飛島公共交通バス蟹江線：飛島村役場、政成、新政西など
  - ・木曾岬町自主運行バス：藤里など
- ◆デマンド運行の利用者の制限なし（地域外の方でもいこいの里等の利用をしやすい）
- ◆料金体系は300円程度

※運行日やダイヤ設定の有無なども含め、詳細については今後も継続して検討

